

ファミコン®

名人戦（めいじんせん）

任天堂 ファミリーコンピュータ

取扱説明書

SFX-MQ

このたびは、SNKのファミリーコンピュータ用ゲームカセット「ファミコン名人戦」(SFX-MQ)をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。「ファミコン名人戦」をいっそう楽しく遊んでいただくために、ご使用の前に、取扱い方、使用上の注意等をこの「取扱説明書」でよくお読みいただき、正しい使用法でご愛用ください。なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

使用上の注意

- 精密機器ですので、極端な温条度件下での使用や保管、また強いショックは避けて下さい。また、絶対に分解しないで下さい。●端子部に直接手を触れたり、水にぬらすなど汚さないようにして下さい。故障の原因となります。
- ケースが変質・変形する恐れがありますので、シンナー・ベンジン・アルコール等の揮発油ではふかないでください。●ご使用後はＡＣアダプタをコンセントから必ず抜いておいてください。●テレビ画面から、できるだけ離れてゲームをして下さい。●長時間ゲームをする時は、健康のため約２時間ごとに10分～15分の小休止をして下さい。

バッテリーバックアップ・カセットの取扱注意

- 本ゲームカセットにはバッテリーバックアップ機能がついています。ゲーム途中でセーブした内容を保存したまま中断したい時は、ファミコン本体のリセットボタンを押しながら電源スイッチをＯＦＦにするとメモリ内容がバックアップされます。なお、下記の点にご注意下さい。

1. 本体の電源を入れたままで、カセットを抜き着しないで下さい。
2. 電源スイッチをむやみにＯＮ・ＯＦＦしないで下さい。

名人戦の主な特徴

1. 人間対人間、コンピュータ対人間の対局を選択できます。
2. コンピュータ対コンピュータの対局を観戦できます。また、途中で対局者変更をすれば、続きから指す事も出来ます。
3. リーグ戦モードがあります。待ったなしで勝ち抜くと、優勝戦挑戦権を獲得、将棋名人と対局できます。
4. 強さごとに3チームに分かれているので、棋力の合った棋士と対局できます。A級が最強チーム、次いで、B級C級となります。
5. 16人の棋士がそれぞれの得意戦法を使ってくるので､バラエティーに富んだ将棋が楽しめます。
6. コンピュータの思考時間が短かく一局のゲーム展開が驚くほど早く、一局10分もかからないくらいです。

7. 詰将棋はコンピュータが創作しています。ほぼ永久的に、新鮮な問題を出題し続けますので、解いてしまったらそれで終わりではありません。

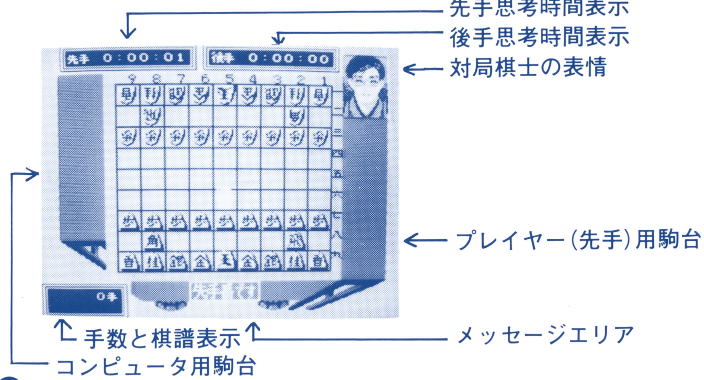
8. 詰将棋は指し手の手に最後まで応援し、正解・不正解を表示します。不正解の場合は、Bボタンを押すともう一度挑戦できます。

9. バッテリーバックアップ付きですので、初期メニューで「再現」を選べば、電源を切る前の続きができます。

10. BGMを消すことができます。スタート画面時に、コントローラⅠのAボタンを押しながらリセットして下さい。

11. 対局が終わると、「名人戦新聞」が画面に出ます。新聞には、「本日のことば」として、将棋金言集が連載されています。将棋をする上で重要なヒントばかりですので、おぼえておくと良いでしょう。

本将棋盤面の見方



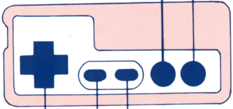
先手思考時間表示
後手思考時間表示
対局棋士の表情
プレイヤー(先手)用駒台
メッセージエリア
手数と棋譜表示
コンピュータ用駒台
先手 0:00:01
後手 0:00:00
0手

操作方法について

◉コントローラーの基本操作

Ⓑボタン(キャンセルボタン)
駒を元の位置に戻す。
盤設定時のみ、駒の成り・向きを変える。

Ⓐボタン(決定ボタン)
駒を掴む、置く。成り、メニューの選択。



十字キー
メニュー選択時のカーソル移動。
盤面での指カーソル・駒の移動。

セレクトボタン
初期メニューを呼び出す。

スタートボタン
ゲームをスタートさせる。
各中断メニューを呼び出す。盤面に戻る。

ボタン＼画面	本・将棋	盤　設　定	再　　現	
	指カーソルの移動、	指カーソルの移動	●上を押すと、一手先に進む。押しつづけると継続的に進む ●下を押すと、一手後ろにもどる。押しつづけると、もどりつづける。	
Ⓐ	●駒を持つ ●駒を置く ●成る·成らないを決定する。 ●メニューの決定 ●対局者の決定	●駒を持つ、 ●駒を置く、		
Ⓑ	駒をもっている時は駒を元の位置にもどす。	コマの成り、向きを選択する。		
スタート				
セレクト	本将棋中断メニュー画面を呼び出す。メニュー画面から盤面に戻る。	元の盤面にもどる。		

リーグ戦	詰　将　棋	B　G　M	バッテリーバックアップ・オールクリア
指カーソル カーソルの移動	指カーソルの移動		
● 駒を持つ ● 駒を置く ● 成る成らないを決定する。 ● メニューの決定	● 駒を持つ ● 駒を置く ● 成る・成らないの決定 ● メニューの決定 ○ 正解・不正解時に押すと、次の問題に進む。	コントロールⅠのⒶを押しながらリセットすると、BGMが消える。	コントローラⅠのⒶⒷとⅡのⒶⒷを同時に押しながらリセットする。
駒をもっている時は元の位置にもどす。	● 駒を持っている時は元の位置にもどす ○ 不正解時に押すともう一度同じ問題ができる。		
初期メニューにもどります			
		詰将棋中断メニューを呼び出す。メニュー画面から盤面に戻る。	

その他の操作

1.バッテリーバックアップに記憶されている内容のつづきがしたい時。
初期メニューで再現を選択し、駒を先まで進めてから、セレクトボタンを押す。

2.リーグ戦の記憶内容を消したい時。
コントローラーⅡのⒶⒷボタンを押しながら、コントローラーⅠのセレクトボタンを押す。

3.タイトル画面時に、Aボタンを押しながらリセットすると、BGMのみ消すことができます。

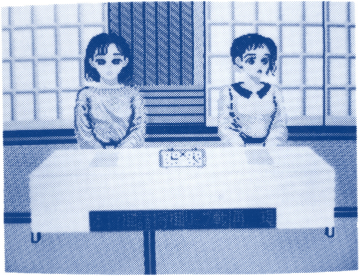
4.詰将棋が不正解になって、もう一度同じ問題に挑戦したい時。
Bボタンを押すと同じ問題の最初に戻ります。Aボタンを押すと正解・不正解にかかわらず次の問題へ進みますが、前の問題に戻ることはできませんので注意してメモをとるなどして下さい。

5. バッテリーバックアップをオールクリアしたい時。
コントローラⅠのⒶⒷボタンとⅡのⒶⒷボタンを押しながらリセットします。
対局のデータと、コンピュータが考えた詰将棋の問題が全て消えます。

6. コンピュータが、長時間かかっても詰将棋を解かない。しかし、データを消さずに止めさせたい時。
コンピュータが「思考中」の時に、スタートボタンを押すと、強制的に「詰みなし」となり、思考をやめます。

初期メニューについて

本将棋	詰将棋	リーグ戦	再　現



✚でカーソルを移動して、

Aボタンで決定してください。

本将棋の説明

本将棋には3種数のモードがあります。

対局1	対局2	観　戦

1.対局1……プレイヤー対コンピュータの対局。対局棋士は自由に選べます。
2.対局2……プレイヤー同志の対局。コントローラⅠとⅡを使用します。
3.観　戦……コンピュータ同志の対局を観戦できます。

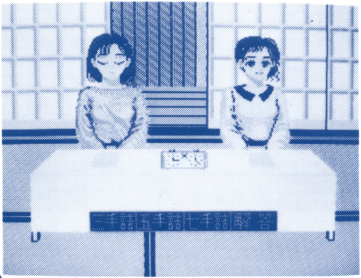
プレイヤーの駒を落として対局する事ができます。同時に先手か後手かを選んでください。

平　手	角　落	飛　落	飛角落	飛角香落
先　手	後　手			

詰将棋の説明

◉詰将棋には4つのモードがあります。

三手詰	五手詰	七手詰	解　答



1. 三手詰・五手詰・七手詰　コンピュータがそれぞれの手詰の問題を考えて出題してきます。問題は半永久的に出題します。

《注意》

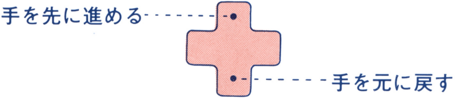
コンピュータは問題をメニュー画面時に作っています。(出題が5問ずつループしだしたら) 初期メニュー、中間・中断メニュー等のメニュー画面にしてしばらくお待ちになって下さい。

2.解答……あなたが問題を作るときのモードです。このモードを選ぶと盤設定の画面になります。問題を設定したら、セレクトボタンを押してください。コンピュータが詰みがあるかどうかチェックして、何手詰か答えます。なお、答えるのは、一手詰～十五手詰までです。「詰みなし」の場合には、再度問題を設定してセレクトボタンを押してチェックしてください。
時にコンピュータが解けない場合がありますが、その時は、思考中にスタートボタンを押して下さい。また、詰将棋の解答で持駒をすべて使わない場合もあります。

再現の説明

電源を切る前の続きをしたい場合に使います。このモードを選ぶ前に他のモードを選んでしまうと、バッテリーバックアップのデータは消えてしまいますので注意してください。

〈再現操作方法〉



1回押すと一手動きます。
押し続けると継続的に動きます。

リーグ戦の説明



数々の棋士を全て勝ち抜くと、優勝戦への挑戦権を獲得できます。そして、あなたが将棋名人に指し勝つ時、晴れて「ファミコン名人戦」最強の棋士となります。しかし、リーグ戦は待ったなしの真剣勝負。あなたはどこまで進むことができるか⁉

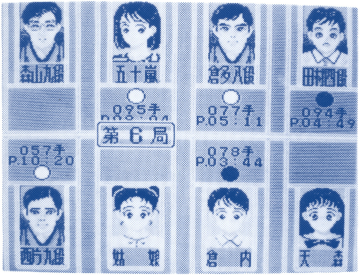
さて、リーグ戦にはA級リーグ・B級リーグ・C級リーグの３通りあります。

1. A級リーグ……A級棋士7人全員に白星を上げると、優勝戦へ進む事ができます。

2. B級リーグ……B級棋士8人全員に白星を上げると、次はA級の最強者１人と対局。それに勝つと、優勝戦に進みます。

3. C級リーグ……C級棋士8人全員に勝ち、B級リーグの最強者1人・A級リーグの最強者に勝つと、優勝戦に進みます。

リーグ戦の成績画面について



プレイヤーが勝った時には白星(○)がつきます。
反対に負けた場合には黒星(●)がつきます。

プレイヤの使った思考時間。

各中断メニューについて

◉本将棋・中断メニュー

再　現	投　了	盤設定	対局者

1. 再現……現時点までの棋譜を見ることができます。操作方法は初期メニューの「再現」と同じで、✚の上と下を使います。
2. 投了……対局の負けを認める時に使用します。本将棋がゲームオーバーになります。
3. 盤設定……「次の一手」等の問題の棋譜を入力して続きを考えたり、コンピュータに解かせたりできます。
4. 対局者……対局者を変更できます。

詰将棋の中断メニュー

解　答	盤設定	再　現

1. 解答……詰将棋の詰み方がどうしても判らない時のためのトラの巻です。コンピュータが考えて答えを出しますので、✚の上下で見て下さい。でも、はじめから見たりしてはダメですよ。

2. 盤設定……コンピュータの出題した詰将棋を工夫して、新たな自分なりの詰将棋を作りたい人のためのモードです。もちろん、コンピュータがチェックします。

3. 再現……正解・不正解表示の出る前なら、このモードが使えます。「どーも今の一手をしくじったようだ」という時に、このモードで一手戻してじっくり研究すれば、終盤力を養うのにもってこいのモードです。

駒の動かし方

○金と王以外の駒は敵陣の3段内に出入りすることにより成ることができます。
○移動方向に敵の駒が有れば取ることができます。
○移動方向に味方の駒が有るとそれ以上移動できません。

歩・前方に1マス移動できます。
と(と金)・歩が成ったもので金と同じく、前、後、左、右、斜め前に1マス移動できます。
飛車・前、後、左、右に何マスでも移動できます。
角・斜め4方向に何マスでも移動できます。
馬・角が成ったもので前、後、左、右に1マスずつと角と同じ移動ができます。
香車・前方に何マスでも移動できます。
成香・香車の成ったもので金と同じ前、後、左、右、斜め前に1マス移動できます。
桂馬・前方に3マスそして左、右どちらか1マスの地点へ他の駒を飛び越えて移動できます。
成桂・桂馬の成ったもので金と同じ前、後、左、右、斜め前に1マス移動できます。
銀・前、左、右、斜め4方向に1マス移動できます。
成銀・銀の成ったもので金と同じく前、後、左、右、斜め前に1マス移動できます。
金・前、後、左、右、斜め前に1マス移動できます。
王(玉)・前、後、左、右、斜めの全8方向に1マス移動できます。

SNK

株式会社 エス・エヌ・ケイ
大阪本社 〒564 大阪府吹田市豊津町18-12号 TEL.06-338-2570
東京支店 〒101 東京都千代田区神田和泉町1-3-4 青木ビル2F TEL.03-865-4791